



12月

早いもので2020年も暮れを迎えようとしています。今年はコロナ一色で、今年経験したことのほとんどが何らかの形でコロナと関係しているものばかりでした。上山奨学財団としてSARSの年に遣中使を中止した経験はありましたが、その際も個人的にそれほど影響がなかったためか、どこか対岸の火事的な感覚で悪く言えば「傍観」していたような気がします。

ところが今回は我々の生活、仕事に直接多大な影響があり忘れることができない年になりました。新規の学生の受入れができないだけでなく在校生に対してもオンライン授業をしたり休校をしたりと過去に経験をしたことがないような対応に追われました。とにかく「コロナの年」ということ以外に形容しがたい年であり、一年の総括もコロナ無しでは語れませんが、コロナ終息（収束）後の形を考える時間に恵まれた年でもありました。

新しいスタッフも幾人か迎え入れ未来の作戦会議を日々してまいりました。作戦がはまって上手くいくといいですが…。また、この機にエアコンや照明を含む

改装を少し行いました。会員の皆様にとって少しでも使いやすく快適な建物になっていることを望んでおります。

本格的な冬を迎えコロナウイルスが三度猛威を振り始めております。ワクチンの接種が可能になりそうな気配ではありますが、今しばらく不要不急の外出は控えていただきご辛抱いただければと存じます。あと少しだと思います。またお目にかかり楽しい時間を過ごすことができることを夢に見ながら新たな年を迎えたいと思いますので、会員の皆様におかれましてもお身体にご自愛いただき来る2021年が良い年になりますよう心から願っております。

本年も本当にありがとうございました。また来年もどうぞよろしく申し上げます。

上山 伸治

独裁者に必要な「諫官」 【前編】

世界のあちこちで政治指導者による“独裁化”が進んでいる。国内政治を歪めるだけでなく、国際関係にも悪影響を及ぼしている。第二次世界大戦後の国際社会は民主主義、国際協調を基軸に発展してきたが、独裁化が健全な発展を阻害する要因となりつつある。

わが国では、憲法を変えるには手続的にハードルが高いため、それならと解釈を変えて国家の安全保障の基本方針などを覆してしまった。その後継指導者は、ルールを無視して、意に沿わない公務員や学者を更迭すると公言して憚らない。多数を恃みにした横暴であり、独裁への道である。もっとも、堂々と憲法を改

正して自らの任期制限を撤廃し、指導者を奉ることを義務付ける法律さえもつくった国もある。複数の国では指導者を選ぶ選挙まで捻じ曲げようとしており、民主主義の根幹を揺るがす深刻な状況と言えよう。

こうした指導者に共通しているのは、異論を許さない排他主義、強権主義である。異論を徹底的に排斥する。国民の人権や思想・信条・信仰・学問の自由などは二の次だ。指導者の周りからは意見や忠告をする人が左遷され、遠ざけられる。結果として、指導者の顔色を窺い、指導者に忠実な側用人、或いは下僕が多くなる。矜持のある人は内心忸怩たる思いをしているが、浮かばれない。

中国には秦のころから皇帝に忠告し意見を述べる「諫官」（かんかん）という役職があった。残念ながら諫官の言うことを聞き入れた皇帝は少なく、諫官の大半は左遷や殺害の目に遭ったという。例外は唐の太宗である。太宗の言行録である「貞観政要」の「直言諫諍篇」には、臣下の直言を受け入れる態度が表されている。正論なら称賛して、改めるところを改めたという。臣下も時には死を覚悟して諫めたという。玄宗が英名君主とうたわれ、時の政治が「貞観の治」と称えられたゆえんである。

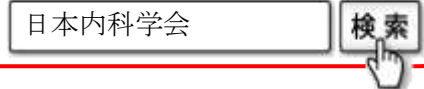
日中文化協会理事・名古屋外国語大学
特任教授 川村 範行

今回ご紹介するのは、日本内科学会が公開している「日本内科学会雑誌・第109巻第11号」です。当雑誌は新型コロナウイルス感染症に関する特集を組んでおり、疫学・治療・検査など最前線で活躍する専門家たちが執筆しています。今回の特集内容の重要性から、多くの人の役に立つようにと、公開に踏み切ったそうです。

内容としては、「COVID-19のこれまでとこれから」では、歴史的な経緯を含めた総括、「これまでの出来事の総括」では、2019年12月から2020年9月までの出来事を時系列で総括、「COVID-19に対する疫学調査と日本の対応」では、対策の中心となったクラスター対策班の押谷氏の見解、「感染症危機における科学的専門家助言組織のあり方」

では、専門家会議が果たしてきた役割と問題点を、その構成員である脇田氏が順を追って説明しています。

学会による学会員に向けた雑誌なので専門的な内容も多く、一般人には難解な話題が多いのですが、現在の状況を整理し、今後のことを考える一助になるのではないのでしょうか。



成語故事コーナー

yǒubèiwúhuàn

有备无患（備えあれば患いなし）

春秋時代、晋の君主である悼公は、大陸の覇者となる野心を持っていました。そして、鄭の国は一介の小国に過ぎませんでした。

鄭の国はとても不安定な情勢で、あるときは晋に従い、あるときは楚に従うような状況でした。それに晋の悼公は怒り、宋や魯など十一国と一緒に鄭に攻め込みました。

鄭に勝ち目はありません。鄭は投

日本語で書くと「有備無患」とな

ります。そのまま「備えあれば患い

なし」ですね。

悼公は晋の名君として名を残し

降し、晋の悼公に多くの財宝を送りました。財宝を受け取った悼公は気分を良くし、その半分を重鎮である魏縫へ分け与えようとしていました。

「魏縫、そなたはよくやってくれた。この財宝を共に分かち合おうではないか。」

しかし、魏縫は言いました。

「陛下。晋の国は陛下のお力によって、この通り繁栄しています。しか

ありますが、若くして亡くなっています。その後、臣下が力を付けていき、最終的には趙・韓・魏の三者に分割され、晋は滅亡しました。

し、今回は勝利しましたが、私は陛下が今後も勝利することを願っています。今は繁栄しているからこそ、将来起こりうる危険に備えなければなりません。今後も大きな災いが起きないように、いつでも準備しておくことが肝要なのです。」

備えた結果や話のオチがあるのではなく、喜ぶ君主に臣下が説教して終わってしまう故事が、やや衝撃的です。

漢方教室 120 妊娠中に葉酸サプリ

妊活中の方は赤ちゃんとママのために多くの栄養素が必要です。葉酸だけではなくホルモンバランスを整える成分、巡りをよくする成分や鉄分なども妊娠中の女性にとって必要な栄養素ですが、そのすべてを食事だけで補うのは難しいのです。つわりがひどく食欲が無いときでも、しっかり栄養を摂ることが大事です。

【モノグルタミン酸型葉酸】

モノグルタミン酸型葉酸は、最初から体内に吸収されるかたちになっており、厚生労働省に推奨されるほど安心・安全な葉酸です。厚生労働省が妊婦さんに摂取を進めているモ

ノグルタミン酸型葉酸の1日の摂取量は400μgとされています。

【乳酸菌】

乳酸菌は腸内環境を整えるために必要な栄養素です。特に便秘気味の方は、乳酸菌を摂り入れることで腸内環境を整えると、他の栄養素のパワーを引き出すことにもつながります。

【ミドリムシ】

ミドリムシは動物性と植物性の両方の栄養素を持っています。アミノ酸18種類、不飽和脂肪酸13種類の動物性栄養素と、ビタミン13種類、ミネラル10種類の植物性栄養素、さらにミドリムシ特有成分である免疫

向上成分のパラミロン(β-グルカン)などの5種類の特殊成分をバランスよく含有しており、完全栄養素とも呼ばれています。



日本安恵の『MBB2』は、妊娠中に必要な栄養素と一緒に摂れる安心・安全なサプリメントです。興味のある方は052-242-3930まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに④③

戦後10年が過ぎ、もはや戦後ではないといった言葉が新聞などに出るようになりました。1950年の朝鮮戦争のおかげか軍需景気で日本経済は上向きに転じました。しかし、我が家の経済状態は一向に好転せず、逼迫した状態が続いていました。

高校3年になって、授業料を納入できず、恥ずかしい思いをしました。当時は人権や、個人情報といったものは、今のように尊重されることはありませんでした。従って、授業料未納者は、学校の会計事務所の廊下に名前が貼り出されるわけです。級友は何も言いませんが、名前を貼り出された本人は忸怩たる思いで登校していました。

そんな時、担任が私の授業料未納が続いていることに気付き、声をかけてくださいました。生活に困窮した生徒に対して、奨学金制度があって、お金を貸してくれるということが分かり、救われました。担任の1先生は、申請手続きをしてくださり、授業料未納が解消し、何とか卒業することができました。1先生は、故人とされましたが、今でもこのご恩は忘れることはありません。

高校生活の3年間は、経済的には恵まれませんでしたが、部活に力を入れ、ある程度の実績を残すことができました。

杉本 克治

12月誕生日の人の言葉

今月の誕生日の人の言葉はお休みします。

マイブーム

ある日の歩道橋の上 前を歩いているおばさんがつぶやいた。「この歩道橋ゆれてるのかなあ。もしかして私、めまいなの？」これはつぶやきにすぎなくて、私に言っているわけじゃないから 聞こえないふりしてればいいのに すぐにことばがでるのが私の癖。

だって二人しかいないのだし 疑問形でしょ。答えがいるわ。で、後ろから

「いやゆれてるんですよ。私の歩き方らんぼうなもので。」

「え？ いやあ私 自律神経失調症かと思ったわ。」

「いやあ私の体重のせいで…。」

「体重ならわたしのほうだわ。」

知らないおばさんと二人、歩道橋を ゆっさゆっさ揺らしながら歩き、階段を降りるとだまって右と左に分かれました。

石川 知子

電子書籍

最近、AmazonのFireHD8PLUSというタブレットを購入しました。インターネットブラウジングや動画の鑑賞、様々なアプリのインストールなどもできる多機能なタブレットです。もともと義父にプレゼントしたものなのですが、あまりに好評だったため、自分用にもう一台買ってしまいました。

一歳半を過ぎたあたりから、子どもは高低差を楽しむかのように立体的に動き回るようになりました。本の並んだ本棚は絶好の荒らし場になってしまい、見ていてハラハラする一角です。新しいタブレットは電子書籍の購読にも対応していて、書籍を紙媒体から電子媒体へ移行するのも丁度良いタイミングでした。

紙媒体と比較すると、電子媒体は一覧表示や検索が容易で、メモやマーカー、しおり機能なども遙かに使い勝手が良くなっています。もちろん、画面サイズ以

上の表示はできないので、やや窮屈で細々としているのが辛いところですが、持ち運びやすさや扱いやすさとの引き換えだと考えれば、それくらいは仕方がないと納得できる範囲です。

最大の欠点は「これ面白いよ」と気軽に人に貸すことができない部分でしょうか。貸す相手も居ない私にとっては、あまり目立たない欠点なのですが。一人で黙々と本を買い漁るだけでは勿体ないので、読んで面白かった本や役立ちそうな本を、時々ご紹介できればと思います。



お知らせ

★1月例会

1月例会はお正月につきお休みです。

★JCCA 中国語サロン

日時：1月16日（土）30日（土）14：30～

★日本語広場

1月の日本語広場はお休みです。

★2月例会

日時：2月2日（火）18：00～

2月例会は恒例の春節祝賀会です。

★第15回 名古屋中国春節祭

日時：2021年1月9日（土）17：30～

会場：ウインクあいち

名古屋市中村区名駅4丁目4-38

（JR桜通口より徒歩5分）

上山学院の様子

11月からやっと今年の新入生が非常に厳しい条件（成田空港から車での送迎、14日間の隔離期間）のもと、上山学院に入学し、入国時期別グループに分けて簡易の入学式をクラスで行いました。

今回の学生の中には、卒業生のウムット・ラフマン君の妹もいます。学生を目の前にして、やっと会えた！と入国が困難だった分、思いもひとしおです。イレギュラーな年度になりますが、逆にそのピンチをチャンスにできるのではと今回のメンバーにはひそかに期待しています。

在校生達は今のところ、お陰様で休校もなく、25日から冬休みに入ります。進路先も徐々に決まりつつあり、来年は日本留学試験の結果をもとに大学を目指す学生たちもいます。このような状況の中ですが、引き続き学生を全力でサポートしていきたいと思えます。



第15回 名古屋中国春節祭

2021年1月9日（土）～11日（月・祝）の3日間、久屋大通公園にて開催予定だった第15回名古屋中国春節祭は、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら予定が変更となりました。

会場はウインクあいちの大ホールとなり、日時は1月9日（土）の17：30から約2時間で、ステージイベントのみの催しとなります。入場者数は200名までと制限されるようですが、インターネットを使ったオンライン放送を予定しているそうです。

例年であれば久屋大通公園には物産や飲食のブースが並び、日中文化協会も出店する予定でしたが、今回のブースはすべて中止となりました。物産や飲食のブースに関しては、WEBサイトを通じて宣伝してくれるそうなので、公式サイトは要チェックです。



編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニュースレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治